

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 6501

レジガードACジョイナー

1. 一般名 エポキシ樹脂防錆打継材
 2. 規格 社内規格
 3. 特徴
 1) 鉄面への防錆性および接着性にすぐれる。
 2) コンクリートおよび断面修復材との相互密着性にすぐれている。
 3) 塗装作業性にすぐれ、厚塗り塗装が可能である。

4. 塗料性状

項目		内容		
容姿		2液性		
荷姿		4kgセット(主剤:3.4kg、硬化剤:0.6kg)		
色相		さび色		
光沢		つや有り		
密度 (23°C)	塗料	1.45		
	揮発分	—		
粘度(23°C)		197ポイズ(B型粘度計)		
加熱残分		100%(理論値)		
乾燥時間	温度	5°C	20°C	30°C
	指触	12時間	6時間	3時間
	半硬化	12時間	6時間	3時間
標準膜厚		130μm		
引火点		SDS参照		
発火点		SDS参照		
爆発限界(下限~上限)		SDS参照		

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項目		内容		
下地処理		プラスト又は、ワイヤーブラシ処理		
調合法		主剤:85部、硬化剤:15部(重量比)		
可使時間	5°C	20°C	30°C	
	2時間	1時間	30分	
洗浄シンナー		レジガードシンナーB		
塗 装 法	塗装方法	刷毛塗り		
	希釈率	—		
	標準使用量	0.25~0.40kg/m ²		
	標準膜厚	130~200μm		
		ウェット管理膜厚	150~250μm	
塗 装 間 隔	温度	5°C	20°C	30°C
	最小	直ちに	直ちに	直ちに
	最大	直ちに	直ちに	直ちに

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

6. 施工上の注意

- 被塗面の塩分、浮錆その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。硬化反応が進んだ塗料はシンナーを加えても使用できない。
- 塗装間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので必ず規定時間以内で塗り重ねを終了すること。尚、規定時間以上経過した場合は、材料表面をサンドペーパー或いはパワーブラシ等にて研磨し、さらにウエスで拭いて調整してから施工すること。
- 上記の件において、その後断面修復材を施工する場合は(4)の後、再度本材料を塗布し、断面修復を行うこと。
- 本材料はコンクリートと断面修復材の接着剤の役割も果たすため、We t状態の施工を厳守すること。
- 塗装終了後の使用器具は直ちにレジガードシンナーBで十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第4石油類	第4類第3石油類
有機溶剤区分	—	—
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	メタレンジアミン 12.3 ノルフェノール 2.8

8. 使用上の注意 [警告]

- 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。